

災害から学んだこと【令和元年東日本台風と令和3年林野火災】

災害に強くなるために進められた改善

足利市は「自然災害が少ない」と言われてきました。しかし、その思い込みを覆すように、「令和元年東日本台風」と「令和3年西宮林野火災」が立て続けに足利を襲いました。被害は過去にない範囲まで広がり、防災体制の立て直しを迫られました。多くの議員が一般質問等で提言を重ね、様々な方のご意見を参考に改善が重ねられています。今回はその一部をまとめてみました。しかし、どんなに体制を整えても、私たち市民の意識が変わらなければ意味がありません。災害に強いまちは**災害に強い“人”**あってこそ。引き続き皆様と共に防災意識の向上に努めてまいります。

課題	対策
令和元年東日本台風 ■避難所が開設されない・足りない (限定的に開設された、夜間に開設された) ■小規模河川(県管理)の洪水・浸水を想定してないハザードマップ ■河川の堤防が低い・川幅が狭い ■住宅等が浸水する恐れがある水門の閉鎖情報が地元伝わらない ■情報が伝わらない (避難所、避難指示、河川水位など)	■大型台風接近の場合早期開設に変更、新たな避難所設置 (車中避難場所等)、避難所開設・運営訓練実施、緊急地区隊配備 ■旗川や出流川など小規模河川(県管理)の浸水想定を反映 (新たな避難所や令和元年浸水エリアの追記) ■中橋架け替え(国、県、市)、小規模河川堤防整備(県、市) ■水門に赤色回転灯&サイレン設置(国)閉鎖準備情報発信、排水ポンプ車配置(国、県) ■防災情報電話一斉伝達システム導入(3分で全自治会長、民生委員等に伝達)、情報伝達訓練実施、公式LINE導入、水位計の設置
令和3年林野火災 ■初動体制に課題 (自衛隊や外部消防機関との連携) ■山間地域の消防力不足 (山間地域に対応した消火装備など) ■大規模林野火災への消防水利不足 (地上からの消火に対する水源の限界)	■各団体との連携強化、大規模林野火災の災害対策本部設置基準を定める、派遣要請手順整備 ■林野火災対応マニュアル策定、可搬ポンプ・小口径ホース・高性能ドローンの配備 ■ダムや河川に関する関係機関との連携強化、農業用ため池等85カ所選定 【その他】足利市の美しい山林を火災から守る条例制定(山林の屋外では火の使用禁止、禁煙)、防犯カメラの設置、山火事防止ポスター等による啓発



出張! 市政報告会・意見交換会
 末吉利啓が皆様の地元や会社などにお邪魔して、市政報告をいたします。お気軽にお問い合わせください。

アシカガ+ミライ茶論(サロン)
 ■日時/毎月第2水曜日 午後6:30~8:00
 ■場所/珈琲蔵(栃木県足利市旭町2292)
 ※毎月行っている意見交換会です。どなたでも参加できます。詳しくはHPへ。



■末吉利啓プロフィール■
 昭和56年生まれ足利出身のプロレスラー。足利市朝倉町に生まれ福富町で育つ。足利を元気にするため観光や歴史を切り口に地域イベント・プロレス大会の開催、イベントの司会、コラム執筆、講演など様々な活動続ける。平成27年足利市議会議員選挙に出馬し初当選(現在3期目)。市議会議員プロレスラーとして活動中。

■末吉としひろ事務所■
 〒326-0331
 栃木県足利市福富町2019-2
 ☎0284-22-3884
 ✉info@sueyoshi-toshihiro.com

■最新情報発信■

末吉としひろ 検索

[ホームページ](#)
[X](#)
[Facebook](#)
[Instagram](#)
[公式LINE](#)

スエヨシレポート

足利市議会議員 プロレスラー [末吉としひろ市政レポート]

vol.16
2024年9月発行

令和元年東日本台風と令和3年林野火災 「災害から学んだこと」

足利の未来は
みんなで作る

公共施設
進む未利用施設の活用と処分

文化財

物外軒と白石山房の修繕と活用始まる



令和5年12月議会一般質問

- 現状を把握して商業地域へ投資を呼び込む
- 夜景観光を着実に宿泊へつなげる

令和6年3月議会一般質問

- 夜も稼げる元気な足利に～ナイトタイムエコノミー～
- 中学校部活の地域移行を変革のチャンスに

討議資料

【写真】架け替え工事が進む中橋